

ディートリヒ・ヘンシェル

(バリトン)

シューベルト

# 冬の旅

深く艶やかな声、  
圧倒的な表現力で歌う、  
シューベルト

魂の傑作



共演

岡原 慎也 (ピアノ)  
Shinya Okahara, piano

Program

シューベルト：歌曲集「冬の旅」D 911

Franz Schubert

W. Dietrich Henschel, baritone  
Winterreise

©EPR Classics

2020 12.7 月 19:00 開演 (18:30 開場)  
トッパンホール 文京区水道 1-3-3  
03-5840-2200

2020年6月1日(月) 一般発売開始

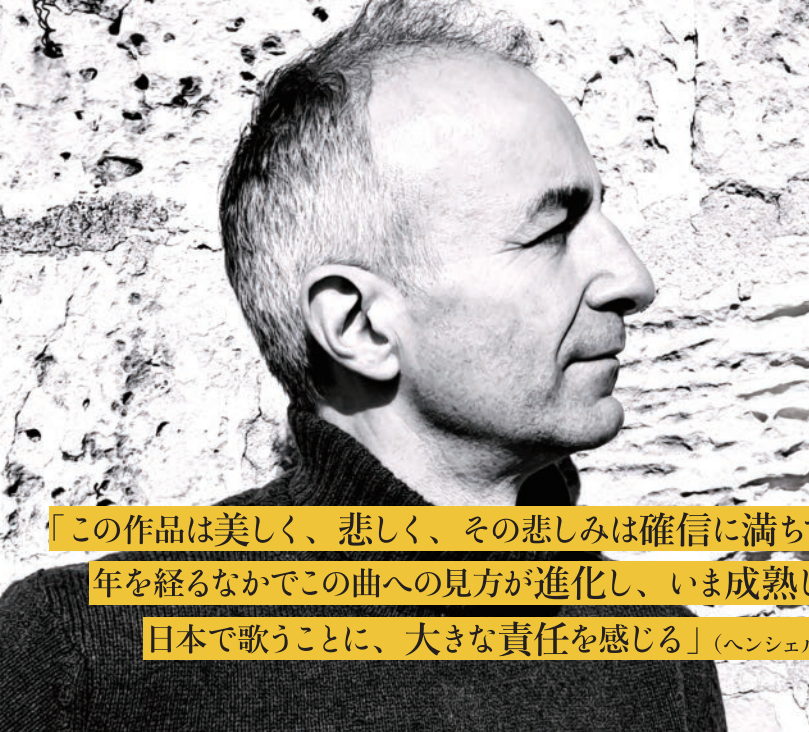
全席指定 一般6,000円 (ペア10,000円) 学生3,500円

チケット取扱い：チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999 [Pコード183-289]  
イープラス eplus.jp 他 ※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

CD付チケット 7,000円 一般 + CD『ヘンシェル | 美しい水車屋の娘』(CD情報裏面参照)  
メールでお申込下さい ▶ info@opus-one.jp

後援：日本ドイツリート協会

主催・お問合せ：オーパス・ワン 03-5577-2072 info@opus-one.jp http://opus-one.jp



「冬の旅」は、  
ヴィルヘルム・ミュラーの詩に基づく、24の連作歌曲集。

恋に破れ、  
冬の荒野を旅する若者の心の風景を描いた作品で、  
1827年、シューベルトが亡くなる前の年に完成した。

不治の病に冒されていた  
シューベルトの不安と孤独の中で生み出されたこの作品は、  
絶望と美しさが、深く聴く者の心を打つ。

「この作品は美しく、悲しく、その悲しみは確信に満ちている。」

年を経るなかでこの曲への見方が進化し、いま成熟したと感じている。

日本で歌うことに、大きな責任を感じる」(ヘンシェル)

25年来の共演者である岡原慎也との  
絶妙のアンサンブルも必聴。

## ディートリヒ・ヘンシェル Dietrich Henschel, baritone

### 伝説の歌手フィッシャー＝ディースカウの後継者と称される現代バリトンの代表格

ミュンヘン・ビエンナーレでデビュー後、1998年にリヨン歌劇場およびベルリン・ドイツ・オペラに出演し、国際的キャリアをスタート。2000年のリヨン歌劇場とパリ・シャトレ座におけるゾーネ『ファウスト博士』では、グラミー賞を獲得した。ミュンヘン、アムステルダム、ブリュッセル、リスボン、マドリード、ジュネーヴ、パリなどヨーロッパの主要歌劇場、ザルツブルク、エクサン・ブロヴァンス、フィレンツェなどの音楽祭に出演多数。ペーテル・エトヴェシュ、デトレフ・グラナート、マンフレート・トロヤーン、ウンスク・チン、ペーター・ルジツカ、ホセ・マリア・サンチェス＝ベルドゥなどの現代作曲家が、オペラ作品においてヘンシェルに主要な役をあてている。

オペラに加えて、リートやオラトリオでも活躍しており、シャイー、ヤーコプス、エッセンバッハ、リリング、クリスティ、ペトレンコ、ナガノ、メータ、ドホナーニ、アルブレヒト、ラトル、ティーレマン、マイスター、カンブルラン、ビシュコフ、大野和士などの指揮者、アーヴィン・ゲージ、フリッツ・シュヴィングハンマー、ヘルムート・ドイチュ、岡原慎也らのピアニストと共演。ガーディナー、ヘレヴェッヘ、アーノンクール、デイヴィスとは、多くのオラトリオのレコーディングを行っている。

近年は、歌曲の文学的内容を視覚化した舞台や映像での表現に取り組んでおり、シューベルト『白鳥の歌』舞台版を、モネ劇場、アン・デア・ウィーン劇場、ノルウェー・オペラ・ハウス、ベルリン・コーミッシェ・オーパーなどで上演。ヴォルフの『IRRSAL(狂気の一禁じられた祈禱者たち)』、マラーの『WUNDERHORN(不思議な角笛)』では、映像と音楽を融合させたステージを展開し、テ・ドレーン、BBC響、モネ劇場などヨーロッパ各地で上演し、話題を呼んだ。

最近のプロジェクトでは、12人の作曲家にクリスマスキャロルを委嘱し、ウラディーミル・ユロフスキ指揮アンサンブル・ユナイテッド・ベルリンとの共演でベルリン・コンツェルトハウスにて2019年12月に初演を行い、絶賛を浴びた。



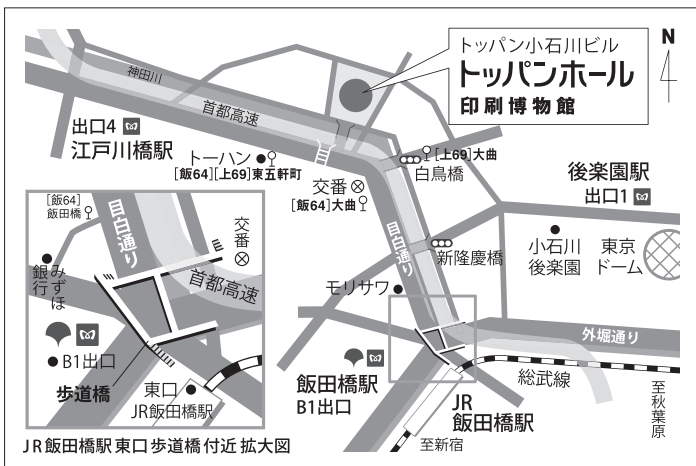
## 岡原 慎也 Shinya Okahara, piano

### ドイツ・リートの伴奏にかけてわが国トップクラスの実力者

東京芸術大学付属高校を経て東京芸術大学に入学、在学中より演奏活動を始める。同大学卒業後、ドイツに留学。ベルリン芸術大学、ミュンヘン音楽大学マスタークラスにおいて研鑽を積み、ドイツ各地で演奏。帰国後、ベートーヴェンのピアノソナタ全曲演奏やリサイタル、コンチェルト等で高評を博す一方、シューベルトやヴォルフの歌曲の全曲演奏などドイツ歌曲や室内楽にて精力的な活動を展開し、1994年にはヘルマン・ブライ、95年にはテオ・アダムと共演、NHK芸術劇場で放映される。1996年にはディートリヒ・ヘンシエルの初来日公演をプロデュースし、翌97年のシューベルトイヤー、99年のR.シュトラウスイヤーの全国ツアーを成功させる。国内のみならず、チェスキー・クルムロフ音楽祭、リヒャルト・シュトラウス音楽祭、グラン・カナリア音楽祭などに招待され、ソリスト、歌曲のパートナー、室内楽奏者として幅広く活動している。2006年春にはチェコにおいて指揮者デビュー、ウィーン・フィルの主力メンバーからなるシュトイデ・カルテットと、ザルツブルク、ウィーン、大阪でのツアーを成功させる。ヘンシェル、シュテファン・ゲンツ、チェコのマルティヌー・カルテットなど、多くのアーティストと国内外で共演を重ねている。

ヘンシェル、ヘルムート・ドイチュらとの「ドイツ歌曲解釈の夏期講習」はドイツ、オーストリア、日本で隔年開催され、多くの若い音楽家たちが巣立っている。

1993年京都音楽賞、96年大阪文化祭賞本賞、2001年音楽クリティッククラブ賞、2012年第66回文化庁芸術祭優秀賞を受賞。これまでに20枚以上のCDがリリースされている。現在、大阪音楽大学大学院音楽研究科長。日本ドイツリート協会会長。



### NEW CD on Sale

シューベルト：  
歌曲集「美しい水車屋の娘」D 795, Op. 25  
ディートリヒ・ヘンシェル  
(原詩：ヴィルヘルム・ミュラー)

ディートリヒ・ヘンシェル(バリトン)、岡原慎也(ピアノ)

録音：2019年3月6日、7日 岩舟文化会館「コスモスホール」  
曲目解説・歌詞対訳：喜多尾道冬  
CD番号：NARD-5067 定価：¥2,800(+税)

### 交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分  
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分  
後楽園駅 地下鉄丸ノ内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分  
都営バス [上69][飯64][大曲]または「東五軒町」下車徒歩約3分  
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

## トッパンホール

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515  
www.toppanhall.com